

令和 7 年度 第 1 回

大崎市環境審議会
会 議 録

令和7年度第1回大崎市環境審議会 会議録

1 日時

令和 7年 8月 8日（金）午後2時から午後3時40分まで

2 場所

大崎市役所本庁舎4階災害対策本部室

3 出席者 23人

〔委員〕（18人）

見上一幸会長，高橋利昭副会長，高橋和吉委員，近藤光恵委員，大友學委員，
古内公雄委員，高橋克幸委員，狩野圭委員，平野洋子委員，千葉祐子委員，
高橋俊雄委員，根元信一委員，氏家美津枝委員，大沼幸男委員，船橋玲二委員，
及川しのぶ委員，千田信良委員，高橋のぞみ委員

〔アドバイザー〕（1人）

宮城県北部地方振興事務所 江刺ひろ子林業振興部長

〔事務局〕（4人）

藤島市民協働推進部長，入野田環境保全課長，佐藤環境保全課長補佐，
晝八環境保全課主事

4 欠席者 2人

岡村智佳子委員，本郷輝朗委員

5 傍聴者 1人 別添傍聴受付簿のとおり

6 本日の会議に付した事項

審議事項 （1）第2次大崎市環境基本計画アクションプランの取り組み状況について

7 配布資料

・次第

・当日出席者名簿及び座席表

・資料 会議の公開等について

・資料 大崎市環境審議会傍聴要領

・資料 大崎市環境審議会関係例規集

・資料 大崎市環境の状況に関する報告書（令和6年度の取り組み）

・資料 大崎市環境の状況に関する報告書（令和6年度の取り組み）

（当日配布「訂正1～3」）

・資料 大崎市環境の状況に関する報告書（令和6年度の取り組み）への環境審議会意見
等

・資料 大崎市環境基本計画アクションプラン一覧

8 会議の概要

事務局（佐藤補佐）

それでは、只今から令和7年度第1回大崎市環境審議会を開会いたします。

はじめに、審議会の会議の成立状況について、ご報告申し上げます。

ご出席いただきました委員の人数は、定足数の過半数に達しておりますので、大崎市環境審議会規則第5条第2項の規定に基づき、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

なお、岡村智佳子委員、本郷輝朗委員の2名から所要のため欠席となる旨の連絡が入っております。

また、見上一幸会長、及川しのお委員から遅れて到着する旨の連絡が入っております。

それでは、開会にあたり、高橋副会長よりご挨拶をいただきます。

高橋利昭副会長

（高橋副会長挨拶）

事務局（佐藤補佐）

ありがとうございました。

それでは審議事項に入ります。ここからの議事進行につきましては、大崎市環境審議会規則第4条第3項の規定に基づき、高橋副会長にお願いします。

議長

（高橋利昭副会長）

それでは、暫時の間、議長を務めさせていただきますのでよろしくお願ひします。

本日の会議録署名委員ですが、舩橋玲二委員、千田信良委員のお二人を指名させていただきますので、よろしくお願ひします。また、会議書記は、事務局の環境保全課にお願いします。

それでは、審議事項に入ります。まず、「第2次大崎市環境基本計画アクションプランの取り組み状況について（令和6年度の取り組み）」、事務局から説明をお願いします。

事務局（佐藤補佐）

（資料「第2次大崎市環境基本計画アクションプランの取り組み状況について（令和6年度の取り組み）」及び「大崎市環境基本計画アクションプラン一覧」により説明）

議長

（高橋利昭副会長）

ありがとうございました。アクションプランについては、内容が多岐にわたっていることから、事前にご質問をご提出いただいております。続いて、事前質問の内容と回答を、事務局から説明をお願いします。

事務局（佐藤補佐）

（資料 大崎市環境の状況に関する報告書（令和6年度の取り組み）への環境審議会委員意見等について、質問事項及び回答内容を説明）

議長

（高橋利昭副会長）

ありがとうございました。事前質問への回答も含め事務局から説明がりましたが、ご意見がございましたらお願いいたします。

氏家美津枝委員

報告書67ページの「リサイクルデザイン展示館体験教室の参加者数」ですが、目標と実績の数値があまりにもかけ離れているので、この

事務局
(入野田課長)

目標数値を下げることはできないのでしょうか。

年間参加者数 1,900 人とした目標数値ですが、コロナウィルス感染症拡大以前に設定した数値であり、令和元年度に 1,500 人ほどの参加実績があったことから、高い目標設定とさせていただいた。その後は、コロナウィルス感染症による影響などから、なかなか体験教室の利用者が伸びないといった状況にありますので、今後検討させていただきたいと思います。

船橋玲二委員

今の質問に関連しますが、達成度は低いから、目標を下げるのは、この計画のあるべき姿ではないと思う。達成度が低いから目標を下げるのではなく、目標に向かって進んでいくことが非常に大事なことだと思いますので、そのあたりを考えていただければと思います。

アクションプランについては、ABCD による評価方法に変わり、評価が分かりやすくなったことで、ある意味これがスタートラインという気はしております。市役所の自己評価ですので、第三者からの評価より甘めと思いますが、この数値を踏まえて、今後どのように工夫する余地があるか。それから、市民に向け達成状況を可視化することも大事なことでないかと思います。

例えば、一覧表の 53 番、報告書 55 ページの「防犯灯(LED)設置数」ですが、市内で市が設置した電灯数が何基位あり、どれぐらい LED に交換できたか、LED に交換することによる CO2 削減量など、毎年の予算に応じ台数交換の数値は達成されてるものと思いますが、全体像として、今どのあたりにいるのかを見せる必要があると思います。

事務局
(入野田課長)

報告書ですが、令和 2 年にアクションプランを作り、手探りで進めてきた部分がございます。委員の皆様から、いろいろご指導やご意見等いただき、現在の形になったところです。スタートラインというところは、まさしくそうだなと思っております。

毎年、見直し等も行いながら進めていくことになっておりますので、目標設定も安易に下げることなくしっかり必要性を捉えた設定をし、取り組んでまいりたいと考えております。

事務局
(藤島市民協働
推進部長)

防犯灯についてはいろんなタイプがあり、まだ蛍光灯のものもあったりします。

国内では、蛍光灯の生産、輸入が禁止されることから、現在大崎市では早急に蛍光灯の LED 化について進めておりますが、この 55 ページのあり方を含め、担当課と今後調整させていただければと思います。

高橋俊雄委員

報告書 13 ページの「ラムサール条約湿地の保全活用に係るイベント回数」について、年度目標 6 回に対し、実績が 2 回となっておりますが、

6回の計画に対し2回の実施なのか、それとも最初から2回の計画だったのか。

大崎市にとってラムサール条約登録湿地と世界農業遺産は二つの大きな看板であり、実施回数が2回というのは、あまりにも回数が少ない。

2回だった理由について、分かればご説明いただきたいですし、さきほど舟橋委員のお話のように、目標を下げずに、実施できるよう取り組んでいただきたいと思います。

事務局
(入野田課長)

当初の目標は6回やりましょうというところで様々な事情により2回というような形になったものと承知しております。

只今いただきましたご意見は、担当課にしっかり伝え、各目標設定の考え方、あとは評価のあり方等も含めて取り組んでまいりたいと考えております。

議長
(高橋利昭副会長)
見上一幸会長

会長が到着されましたので、一言ご挨拶をお願いいたします。

(見上会長到着、挨拶)

議長
(高橋利昭副会長)
千田信良委員

ありがとうございました。

引き続き、委員の皆様からご意見をお願いいたします。

報告になりますでしょうか。

報告書 60 ページ、地球環境分野の「廃食用油回収量」、バイオディーゼル燃料の利用に関し、私も関係しておりますので、情報提供をさせていただきます。

おかげさまで、昨年よりも回収量が大幅に増加しております。

これもひとえに市民の皆様や市役所のご協力に感謝を申し上げます。

成果として、仙台空港での JAL の貨物を運ぶ車両であるトーイングトラクターや小松製作所などの建設機械等に利用されて実績を伸ばしています。

県や市の公共工事等への利用に向け、引き続き頑張ってまいりたいと思います。

その中で、市内企業のアルプスアルパイン様や大和ハウス工業様におかれましては、社員様、社員食堂から廃油を回収し、弊社での処理後に、トラック、フォークリフト、発電機への利用ということで、SDGs 未来都市おおさきへ貢献をいただいています。

また、古川のイオン様では、大崎管内のイオン店の回収窓口で、油回収を積極的にご協力をいただけることになっております。

現在、陸羽東線の問題がありますが、現在 S-PAL 様、メトロポリタン様、新幹線の車両基地の社員食堂様などから油を回収しており、陸羽東

線車輛へバイオディーゼル燃料を提供したいと思っており、日本語学校も出来たわけですから、留学生の足も守る思いで、市民鉄道という形で取り組んでおりますので、応援のほどお願いいたします

最後に、環境出前講座について補足です。

古川黎明高校「スーパーサイエンスハイスクール」についてですが、弊社も含め、市内の企業様の工場見学等で子供たちの環境出前講座の教育がなされておりますので、教育委員会さんと連携して頑張っていきたいと思っております。先日は丸森町の公衆衛生連合会の皆さんが、施設見学に来られて鳴子温泉に宿泊して、市内を見学して帰られたということで、観光公社とも連携しながら、関係人口を増やすというか、交流人口を増やすという、大崎のファンになってもらう方々を増やすべく、市民、市内企業の皆さんと連携してこの街を守っていききたいなと思います。

以上です。ありがとうございました。

議長
(高橋利昭副会長)

ありがとうございました。事務局から、何か一言添えることございませんか。

事務局
(入野田課長)

地元の企業様にこういった環境への取り組み、市としても大変ご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます

この取り組みが広がること、皆さんが取り組みを見て1人1人の環境に対する思いを共有し、何か一つでもいいので、取り組みを始めていただくきっかけとなっていくことが重要ではないかと思っています。

市としても、環境教育は、非常に大事だと思っております。千田委員にもご協力をいただいておりますが、小学校での出前講座等々は回数を増やしております。非常に学校からの要望も多く、子たちを通じ、家庭にその環境の大切さというのををお持ち帰りいただき、家族で話し合いを始めていただくきっかけを作っていければと思っておりますので、引き続き連携しながら取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

議長
(高橋利昭副会長)
高橋のぞみ委員

その他、委員の皆様からご質問ございませんでしょうか。

報告書 79 ページの「緒絶川荒川清流化促進協議会清掃実施回数」についてですが、事前質問にもありましたが、その回答は、「広報活動への協力、清掃用品等の支援に務めていく」とあったのですが、実際に資料を見ると、令和2年度から清掃活動等々が行われておらず、評価もずっとD評価になっている現状を謙虚に受け止め、年度内には、目処が立つよう進めていただきたいなと強く思いました。

事務局

ありがとうございます。この協議会は、各地域からボランティアとし

(入野田課長)	て、5人とか10人が川の中に入っの清掃活動を実施された歴史のある組織でしたが、コロナウイルスをきっかけに清掃活動が止まってしまった経過がございます。我々としても、綺麗な水環境を保つために取り組んでいかなければいけませんし、川の恵みというものの認識して事業継続していかなければならないと思っているところでございます。
議長 (高橋利昭副会長) 近藤光恵委員	この志のある企業団体様に引き継ぐに当たっては、打ち合わせや協議を重ねてきたところですが、早めに活動再開できるよう、しっかり取り組んでまいります。
議長 (高橋利昭副会長) 近藤光恵委員	その他、委員の皆様からご質問ございませんでしょうか。 評価の仕方についてですが、以前の○△□評価から、4段階評価となったことで、見やすくなったと思います。
事務局 (入野田課長)	目標を変えるか、変えないかというところについては、例えばDからCに、CからAへの評価は、いい傾向だと思って見てました。ただ、評価がDとされる指標で、2年連続同じ評価である指標については、目標が高すぎではと考えつつ、先ほどのお話のように、下げようっていうものでもないの、担当課の皆様と検討され、見直していただければと思います。
事務局 (入野田課長)	ありがとうございます。まさにその通りだと思います。これまで取り組んできて、成果が上がらないものについて、やり方を変えれば目標が達成できるものなのか、目標を見直さなければいけないものなのかを、担当課と協議をしていきたいと思っています。 目標に達したものは逆に上方修正すべきものもあると思いますので、各事業の担当と話をしながら、設定を考えていきたいと思っています。
議長 (高橋利昭副会長) 高橋和吉委員	大変ありがとうございました。 その他、委員の皆様からご質問ございませんでしょうか。
根元信一委員	根元委員の事前質問にありました、「地域特有の在来生物であるゼニタナゴを新たに市の天然記念物指定に向けて、審議を行っております」とした部分についてですが、品井沼の周辺の池にゼニタナゴがいることは承知しておりましたが、私も化女沼周辺の池の調査を3年続けておりますが、現在3ヶ所で、ゼニタナゴが見つかっております。 実際には一つ一つの池を緻密に調査すると、分からないことがまだまだあると思いますので、情報提供させていただいた。 本日、事務局のご配慮いただき、パンフレットを配らせていただいておりますが、その理由として、実は国内希少野生動植物種第一種に、ゼ

ニタナゴが指定されました。動物では初めてとなり、その扱い等々については、環境省とその都度、回答いただきながら活動しているところです。シナイモツゴ郷の会の情報として、ゼニタナゴは東北の岩手県に1ヶ所、それから福島県に1ヶ所、宮城県は2ヶ所とされておりましたが、化女沼周辺にもいるとのお話をいただきました。これは、大崎の宝になりますので、引き続き、情報共有をよろしくお願いいたします。

余談になりますが、今月23日にシナイモツゴ郷の会では、パンフレットに記載してありますが、駆除したザリガニを販売しておりまして、今月は23日の土曜日、鹿島台の駅前のマルシェで販売しておりますので、もしお時間ある方は、ぜひお越したきたいと思います。

議長
(高橋利昭副会長)
事務局
(入野田課長)

事務局から、何かございませんか。

いろいろご活動いただき本当にありがとうございます。

根元委員のお話のとおり、他の地域にないものが、大崎でしっかり残っているのは非常に宝であると思っています。これを未来にしっかり繋いでいけるような環境を、みんなで作っていただけるよう呼びかけていかなければいけないと思ったところです。

活動は、いろいろ大変かと思いますが、よろしくお願いいたします。

議長
(高橋利昭副会長)
大友氏学委員

その他、委員の皆様からご質問ございませんでしょうか。

先ほどのありました、報告書79ページ「緒絶川荒川清流化促進協議会清掃実施回数」の件について、実績が0回ということでD評価になっておりますが、土地改良区との関係になりますが、緒絶川・荒川の清掃を、明治の時代から4月の第1日曜日に実施しています。環境保全課にこの情報がなかったことから、この評価となっているのでしょうか。

また、緒絶川・荒川の水路の終点の清掃は、企業の方に手掛けていただいております、かなり綺麗になっております。緒絶川・荒川は、三面コンクリートの川ですので泥とかは少ないと思いますし、空き缶についても、4月に開催される古川地域統一清掃日までには、全部片付いている状態になっておりますので、この評価はどうかと感じたところです。促進協議会がどういう組織か分かりませんが、取り組みを考慮すれば、緒絶川・荒川は綺麗な川になってきているものと思います。

事務局
(入野田課長)

こちらの評価ですが、促進協議会としての取り組みがゼロだったということでの評価でございます。

大友委員ご紹介の通り、土地改良区において毎年清掃活動をやっていると思いますし、企業の方にも清掃活動をしていただいております。

す。市民統一清掃の際は、下流域にたまった空き缶とか、ゴミについても地域の皆さんで清掃活動を実施いただいておりますが、協議会活動として出来なかったということで、Dという評価にさせていただいたところ です。

議長
(高橋利昭副会長)

その部分について、取り組み項目に追加で掲載されてはいかがか。

事務局
(入野田課長)

市民参画で協働の取り組みでもありますので、追加の掲載について検討させていただきます。ありがとうございます。

議長
(高橋利昭副会長)

他に委員の皆様から何かございますでしょうか。

(なし)

議長
(高橋利昭副会長)

それでは、本日ご出席いただいております、アドバイザーの江刺林業振興部長様に一言いただければと思います。

江刺アドバイザー

感想という形で、お話をさせていただきます。

基本計画における目標設定というのはどう設定するか、非常に難しいものと思いました。最初の目標を守り、それが達成されるように頑張るべきだと思いますし、そもそもの目標設定の仕方がうまくなければ、なかなか達成が難しいことになると感じたところです。

報告書 22 ページの「有害鳥獣捕獲頭数」を目標設定にされている項目がございしますが、これはたくさん取らなければ評価が下がるものですが、ただ、生息密度が下がってくれば捕獲ができなくなることも、その通りですし、密度が低くなることは、その捕獲がうまくいったことでもあり、こういう指標で判断すると正確な評価が難しくなると思いまして、指標の本当の目的に照らしてどうなのかを考え、担当課からコメントを出してもらえるようにするとより良いのではと感じたところです。

90 以上の指標を掲げて取り組んでおられるということで、非常に高い目標を持たれ基本計画を進めようとしていることが見えて、本当に素晴らしいことと感じました。

この 90 の指標を頑張っていただくと全体的に市として、地域として SDGs の方も達成されていくってようなことになると思いますので、積極的に進めていただければと思います。

私は、森林林業の分野としてご案内いただいておりますが、SDGs の 17 の目標のうち一番土台になるところは自然環境の部分であり、その土台の上に経済ですとか、人の生活とか関連しながら進み上がっていくってような作りになっておりますので、自然環境をきちんと守りつつ、それを生かしつつバランスを取って全体を進めていく考え方が大事

議長
(高橋利昭副会長)
見上一幸会長

というふうに改めて思ったところでございます。

今日はありがとうございます。

ここで見上会長の代わりを努めてきたところですが、見上会長から令和6年度の報告についてコメントをいただきたいと思います。

報告書を拝見し2点申し上げたいと思います。

アクションプランを初めに作成したときには申し上げませんでした。が、非常にこの報告書をご覧になっても、大崎の場合は非常に具体的な活動に結びついていて、非常に優れた成果が出てると思います。

RCE (Regional Centres of Expertise on ESD)という言葉が聞かれたことありますでしょうか。国連大学が、世界に先駆けて作った、環境で先進的な地域を世界中で指定しているもので、実はこの大崎っていうのは仙台広域圏という名前で、仙台市、大崎市、気仙沼市、この三市が主要の地域として、世界で7ヶ所、日本では岡山市と、仙台広域圏の二つが最初に指定されております。国連大学が東京にあるということもあり、学長自ら調査され、文句なしに地域を指定するというふうにおっしゃったんですが、この国際会議が毎年、今年は岡山市で行われることになっております。このような皆様方のご努力の成果をそういうところに出せたら、インバウンドのお話もありましたが、非常に先進地域ということで、しかも、農業に立脚した、きちんとした環境を整備されている、取り組みをされている、アピールになると思いながらご議論を聞いておりました。

二つ目ですが、今、シナイモツゴやゼニタナゴのお話がありましたが、こういう貴重なものが地元にあることは本当にありがたいことですし、大事にしなければいけないことなので、スーパーサイエンスハイスクールの話も出ましたが、高校生に非常に生物好きのお子さんたちもいらっしゃるので、地元の財産を使って、あの成果をあげると非常に誇りに思ってくれるのではないかと、そんなふうに思いました。

議長
(高橋利昭副会長)

それではですね6年度の取り組みにつきまして報告書ご覧になっていただいて、質問等々いただきました本当にありがとうございました。

それでは本日の日程は全て終了いたしましたので、どうもありがとうございました。

事務局 (佐藤補佐)

ありがとうございました。

皆様から貴重なご意見、ご指導賜りました内容につきまして、報告書に反映するもの、あるいは今後の取り組みなど、担当課と調整のうえ、進めていきたいと考えてございます。

報告書につきましては、なるべく早く完成させまして、委員皆様の方

にお届けするように進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続いて、その他ですが、次回の審議会の予定ですが、現在のところ未定となっております。審議会の開催の必要があった場合には、見上会長と日程を相談させていただいた上で、ご案内申し上げますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和7年度第1回大崎市環境審議会を終了させていただきます。皆様ありがとうございました。

この会議の内容は、会議録のとおり相違ありません。

令和 7 年 11 月 25 日

議長（副会長）

高橋利昭

会議録署名委員

船橋 玲二

会議録署名委員

千日 信良